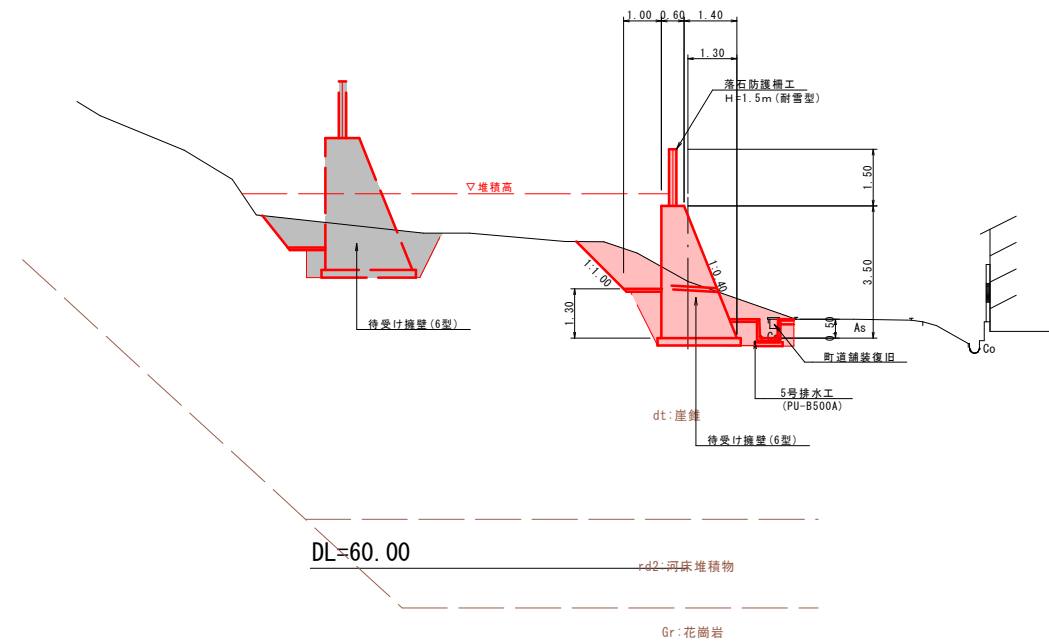


地区名		牧地区	
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)			
図名		平面図	
位置		東伯郡三朝町大字牧	
縮尺		1:500	単位 M
図号		全 15 葉中の内 1	
令和 7年度施工		鳥取県	
中部総合事務所県土整備局			

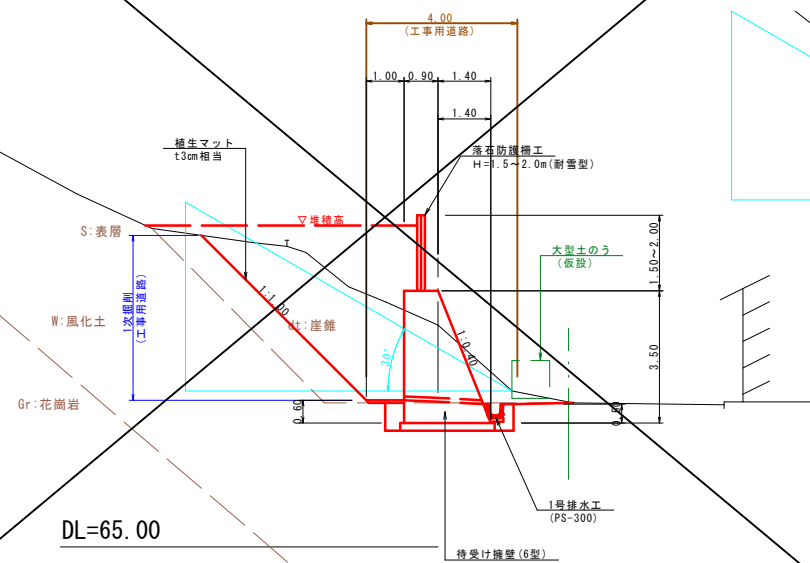
標準断面図(2/4)

S=1:100

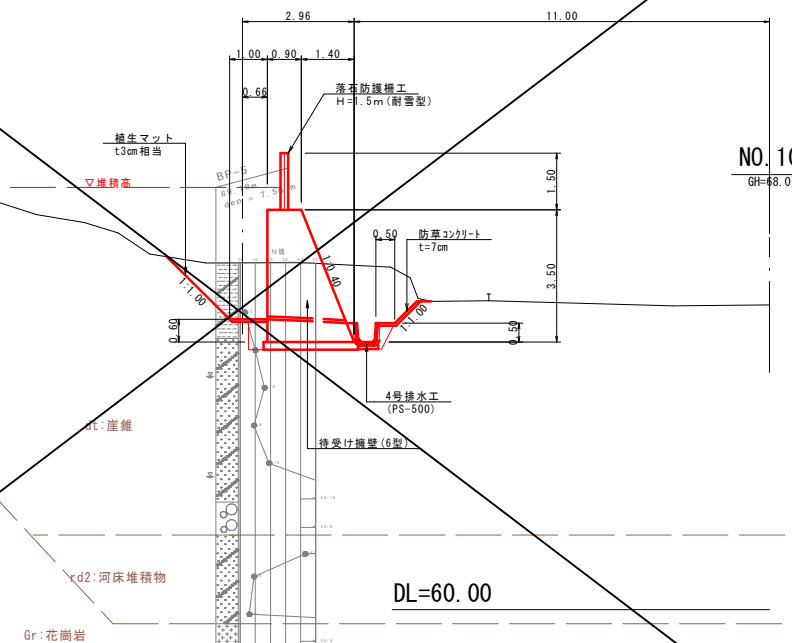
NO. 11+17.80
GH=67.60



NO. 7
GH=70.78



No.10
(L13.96)

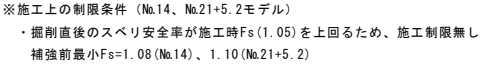


NO. 10
GH=68.07

- ※特記事項
1. 地層線は調査結果による推定線である。
 2. 待受け擁壁の基礎地盤条件は擁壁工標準図を参照してください。

(A工区)		起工	
地区名	牧地区		
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)			
図名	標準断面図(2/4)		
位置	東伯郡三朝町大字牧		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全15葉中の内3		
令和7年度施工		鳥取県	
中部総合事務所県土整備局			

$S = 1 : 100$



(A工区) 起工

A3出力時 縮尺1/2

NO. 12
GH=68.95
FH= -

D=20.00

NO. 11+17.80
GH=67.60
FH= -

No.11+17.80
(L7.00)
GH=68.88

DL=60.00

dt:崖壁

rd2:河床堆積物

Gr:花崗岩

測 点	No.12	
項 目	土 砂	軟 岩
掘削(片切)C1	7.4	0.0
掘削(両切)C2	0.0	0.0
整形(切土)L	3.00	0.0
床掘:E	4.9	0.0
埋戻(W1≤1m)F	1.2	0.0
表層(t=4cm)	0.36	0.0
路盤(t=10cm)	0.36	
舗装取壊 L=0.4		

D=2.20

DL=60.00

dt:崖壁

rd2:河床堆積物

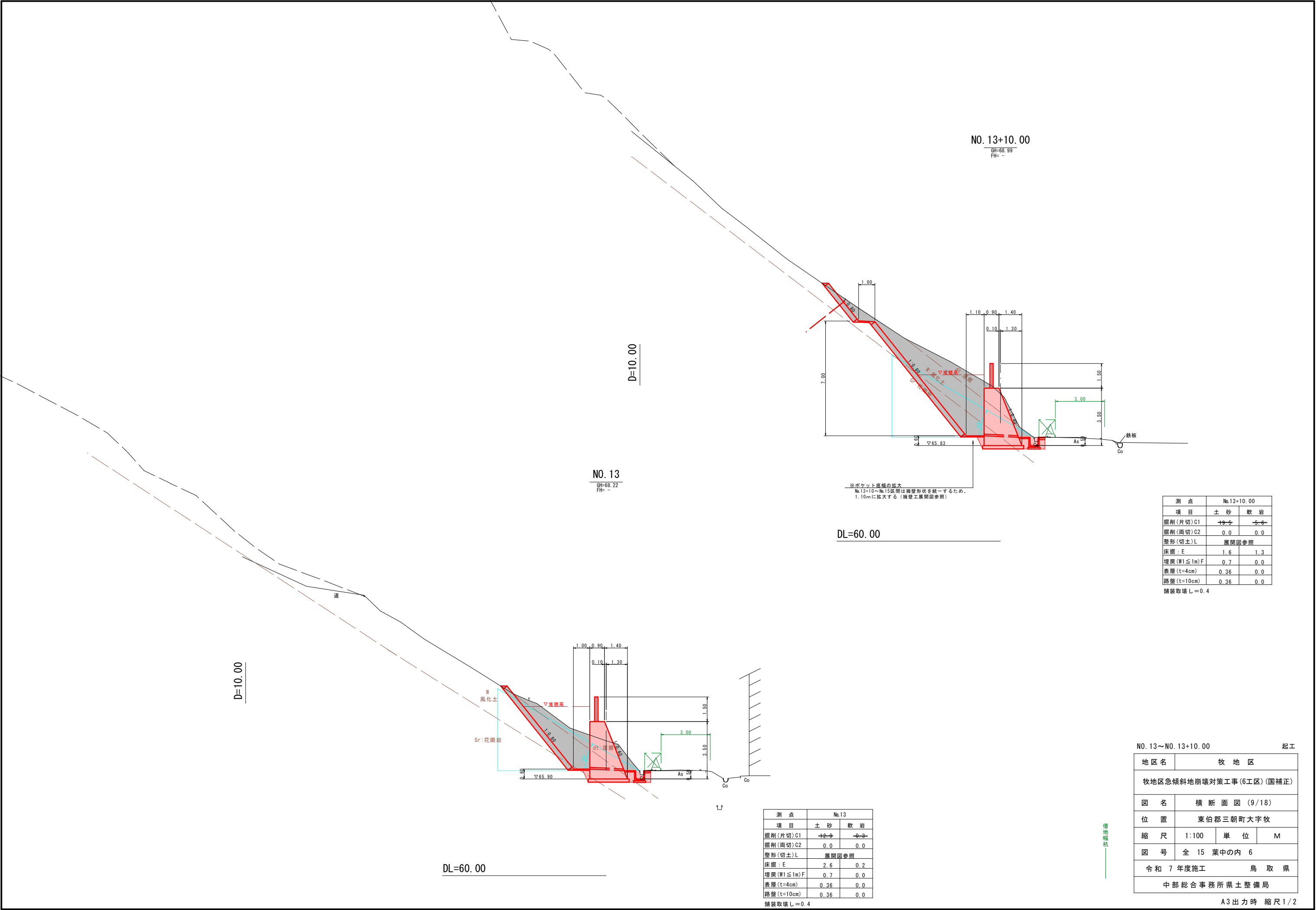
Gr:花崗岩

待受け擁壁 (6型)			
測 点	No.11+17.80		
項 目	土 砂	軟 岩	
掘削(片切)C1	2.8	0.0	
掘削(両切)C2	0.0	0.0	
整形(切土)L	1.17	0.0	
床掘:E	2.3	0.0	
埋戻(W1≦1m)F	0.7	0.0	

待受け擁壁 (7-1型)			
測 点	No.11+17.80		
項 目	土 砂	軟 岩	
掘削(片切)C1	2.1	0.0	
掘削(両切)C2	0.0	0.0	
整形(切土)L	1.88	0.0	
床掘:E	5.0	0.0	
埋戻(W1≤1m)F	1.2	0.0	
表層(t=4cm)	0.36	0.0	
路盤(t=10cm)	0.36	0.0	
舗装取壊し=0.4			

NO. 11+17.80～NO. 12				起工
地区名		牧地区		
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)				
図名		横断面図(8/18)		
位置		東伯郡三朝町大字牧		
縮尺		1:100	単位	M
図号		全 15 葉中の内 5		
令和 7 年度施工				鳥取県
中部総合事務所県土整備局				

A3出力時 縮尺1/2



NO. 13+10.00
GH=68.99
FH=-

D=10.00

NO. 13
GH=68.22
FH=-

DL=60.00

D=10.00

DL=60.00

※ポケット底幅の拡大
No.13+10~No.15区間は擁壁形状を統一するため、
1.10mに拡大する(擁壁工展開図参照)

測 点	No.13+10.00	
項 目	土 砂	軟 岩
掘削(片切)C1	+9.5	-5.6
掘削(両切)C2	0.0	0.0
整形(切土)L	展開図参照	
床掘:E	1.6	1.3
埋戻(W1≤1m)F	0.7	0.0
表層(t=4cm)	0.36	0.0
路盤(t=10cm)	0.36	0.0

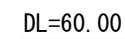
舗装取壊し=0.4

測 点	No.13	
項 目	土 砂	軟 岩
掘削(片切)C1	+2.9	-9.3
掘削(両切)C2	0.0	0.0
整形(切土)L	展開図参照	
床掘:E	2.6	0.2
埋戻(W1≤1m)F	0.7	0.0
表層(t=4cm)	0.36	0.0
路盤(t=10cm)	0.36	0.0

舗装取壊し=0.4

NO. 13.~NO. 13+10.00				起工	
地区名		牧地区			
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)					
図名		横断面図(9/18)			
位置		東伯郡三朝町大字牧			
縮尺		1:100	単位		M
図号		全 15 葉中の内 6			
令和 7 年度施工				鳥取県	
中部総合事務所県土整備局					

A3出力時 縮尺1/2



测 点	No.16	
项 目	土 砂	软 岩
掘削(片切)C1	14.6	1.3
掘削(両切)C2	0.0	0.0
整形(切土)L	展開図参照	
床掘 : E	2.3	0.2
埋戻 (W1≤1m) F	0.5	0.0

测 点	No.14	
项 目	土 砂	软 岩
掘削(片切)C1	31.7	3.5
掘削(両切)C2	0.0	0.0
整形(切土)L	展開図参照	
床掘: E	2.1	0.6
埋戻(W1≤1m)F	0.6	0.0
表層(t=4cm)	0.36	0.0
路盤(t=10cm)	0.36	0.0

NO. 14～NO.15		起工	
地区名	牧地区		
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)			
図名	横断面図(10/18)		
位置	東伯郡三町町大字牧		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全 15 葉中の内 7		
令和 7 年度施工	鳥取県		
中部総合事務所県土整備局			

待 受 け 擁 壁 工 標 準 図 (2 / 4)

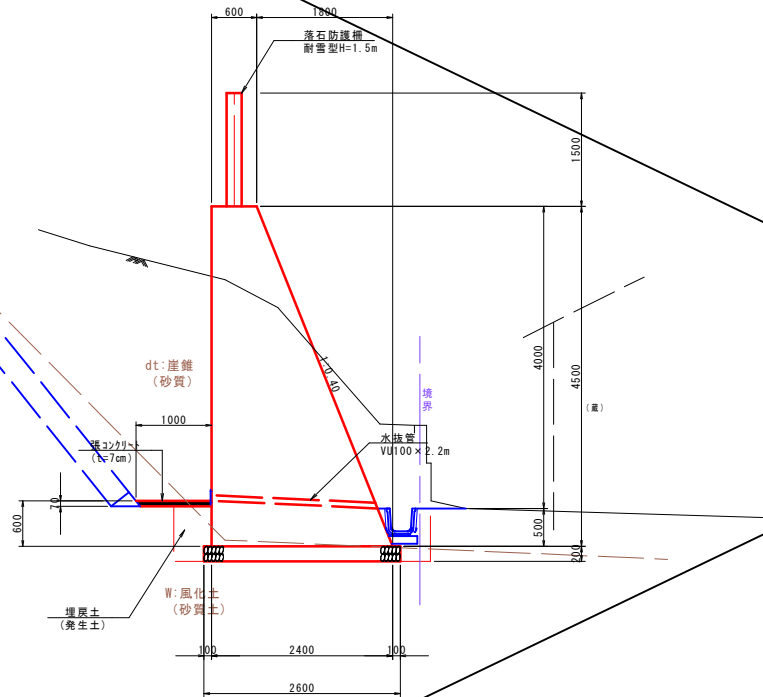
S=1:50

待 受 け 擁 壁 (4 型)

待 受 け 擁 壁 (5 - 1 型)

待 受 け 擁 壁 (5 - 2 型)

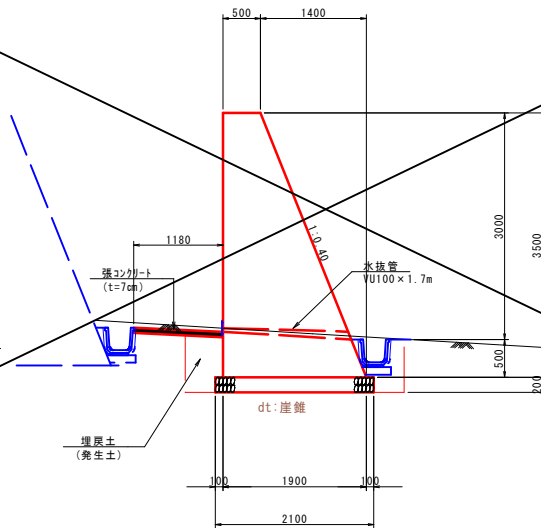
待 受 け 擁 壁 (6 型)



基礎地盤条件
 $\gamma=16\text{kN/m}^3$, $\phi=35^\circ$, $C=4.5\text{kN/m}^2$ (支持力に評価)
極限支持力 (qu)=375kN/m²以上

埋戻土条件
 $\gamma=19\text{kN/m}^3$, $\phi=30^\circ$ 相当

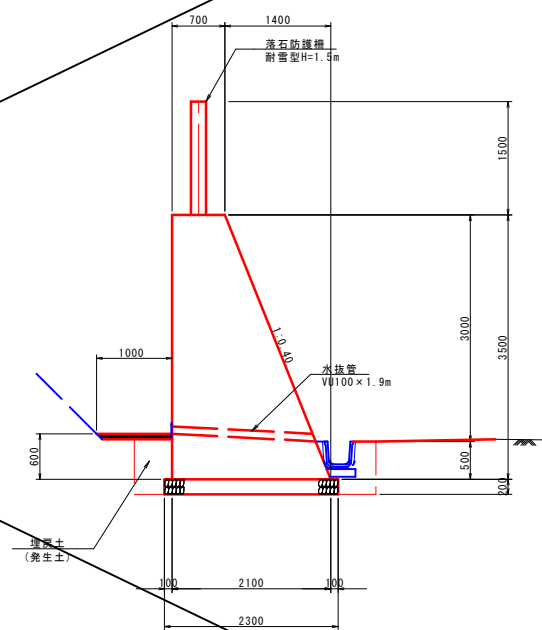
※1. 地盤線は推定線であるため、掘削・床掘時に地層を確認してください。
2. 床掘後、基礎地盤支持力 (qu)を確認してください。
地盤支持力が不足する場合は砕石を用いて置換えてください。



基礎地盤条件
 $\gamma=16\text{kN/m}^3$, $\phi=35^\circ$, $C=4.5\text{kN/m}^2$ (支持力に評価)
極限支持力 (qu)=205kN/m²以上

埋戻土条件
 $\gamma=19\text{kN/m}^3$, $\phi=30^\circ$ 相当

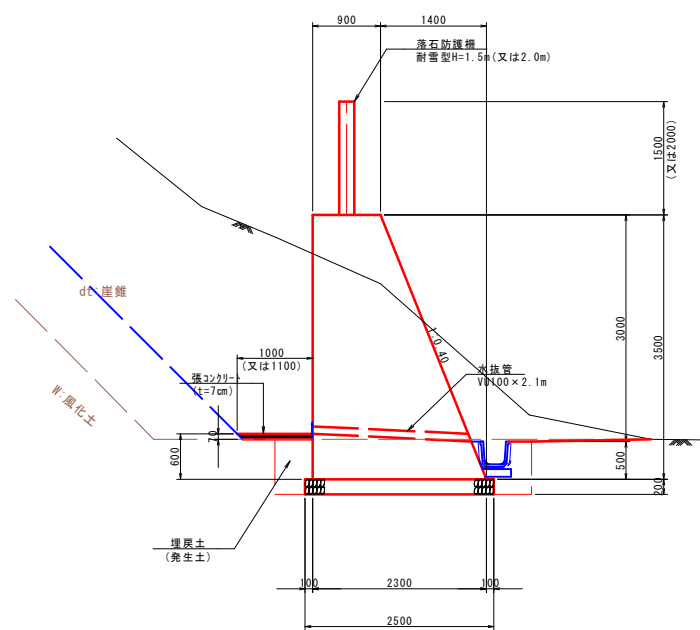
※1. 地盤線は推定線であるため、掘削・床掘時に地層を確認してください。
2. 床掘後、基礎地盤支持力 (qu)を確認してください。
地盤支持力が不足する場合は砕石を用いて置換えてください。



基礎地盤条件
 $\gamma=16\text{kN/m}^3$, $\phi=35^\circ$, $C=4.5\text{kN/m}^2$ (支持力に評価)
極限支持力 (qu)=230kN/m²以上

埋戻土条件
 $\gamma=19\text{kN/m}^3$, $\phi=30^\circ$ 相当

※1. 地盤線は推定線であるため、掘削・床掘時に地層を確認してください。
2. 床掘後、基礎地盤支持力 (qu)を確認してください。
地盤支持力が不足する場合は砕石を用いて置換えてください。



基礎地盤条件
 $\gamma=16\text{kN/m}^3$, $\phi=35^\circ$, $C=4.5\text{kN/m}^2$ (支持力に評価)
極限支持力 (qu)=230kN/m²以上

埋戻土条件
 $\gamma=19\text{kN/m}^3$, $\phi=30^\circ$ 相当

※1. 地盤線は推定線であるため、掘削・床掘時に地層を確認してください。
2. 床掘後、基礎地盤支持力 (qu)を確認してください。
地盤支持力が不足する場合は砕石を用いて置換えてください。
3. №14の前後区間は背面の張コン幅を1.1mとする (展開図参照)

設計条件

項 目		設計値	
崩壊土砂	土砂移動高さ (hsm)	m	1.0
	比重 (σ)	t/m ³	2.6
	容積濃度 (C)		0.5
	密度 (σ_m)	t/m ³	1.8
	流体力抵抗係数 (fd)		0.025
	内部摩擦角 (ϕ)		
基礎地盤	衝撃時	°	25.0
	体積時	°	30.0
	単位重量 (γ)	kN/m ³	18.0
	土質区分	崖推 (砂質土)	風化土 (砂質土)
	単位重量 (γ)	kN/m ³	16.0 19.0
	内部摩擦角 (ϕ)	°	35.0 30.0
	基礎底面摩擦抵抗 (μ)		0.6 0.6

数量表

			10.0m当り			
名 称	規 格	単位	4 型	5-1型	5-2型	6 型
コンクリート	18N-8-40	m ³	67.50	42.00	49.00	56.00
型 枠	無 筋	m ²	93.47	72.70	72.70	72.70
基礎砕石	RC-40, t=20cm	m ²	26.00	21.00	23.00	25.00
水抜管	VU100	m	11.00	8.50	9.50	10.50
吸出防止材	250×250	枚	5.00	5.00	5.00	5.00
張コンクリート	18N-8-20, t=7cm	m ³	0.68	0.83	0.68	0.68

※1. 伸縮目地は延長10mに1箇所を標準とする。
2. 落石防護柵の支柱は擁壁本体コンクリートと同時打設としてください。
3. 水抜管は2m当り1箇所を標準に配置してください。
4. 基礎の埋戻mは良質土 (発生土) で入念に充填してください。

(A工区)

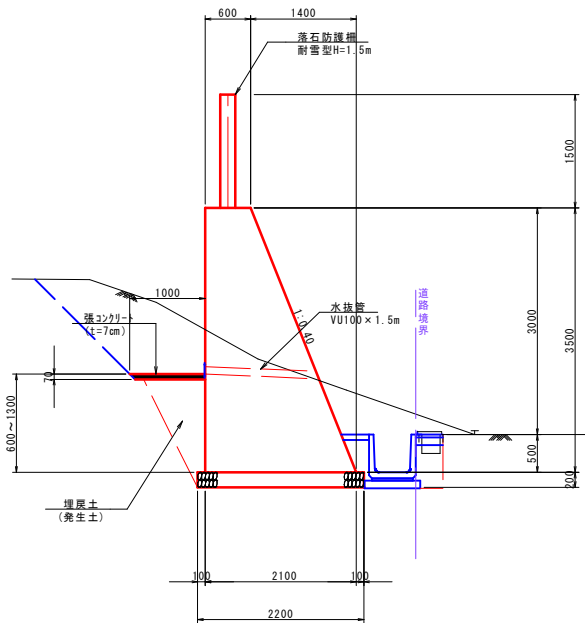
起工

地区名	牧 地 区		
牧地区急傾斜地崩壊対策工事（6工区）（国補正）			
図 名	待受擁壁工標準図（2/4）		
位 置	東伯郡三朝町大字牧		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	全 15 葉中の内 8		
令和 7 年度施工		鳥 取 県	
中部総合事務所県土整備局			

待 受 け 擁 壁 工 標 準 図 (3 / 4)

S=1:50

待受け擁壁（7-1型）

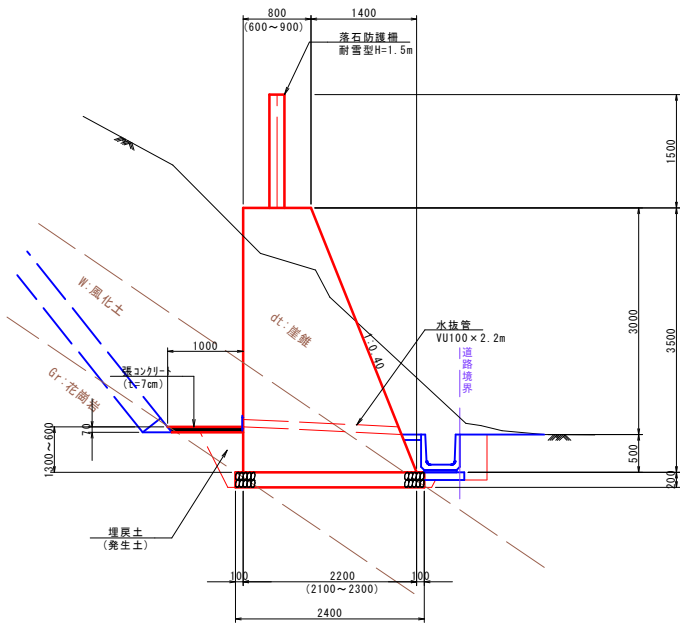


基礎地盤条件
 $\gamma=16\text{kN/m}^3$, $\phi=35^\circ$, $C=4.5\text{kN/m}^2$ (支持力に評価)
極限支持力 (q_u) = 220kN/m² 以上

埋戻土条件
 $\gamma=19\text{kN/m}^3$, $\phi=30^\circ$ 相当

- ※1. 地盤線は推定線であるため、掘削・床掘時に地層を確認してください。
2. 床掘後、基礎地盤支持力 (q_u) を確認してください。
地盤支持力が不足する場合は砕石を用いて置換えてください。

待受け擁壁（7-2型）

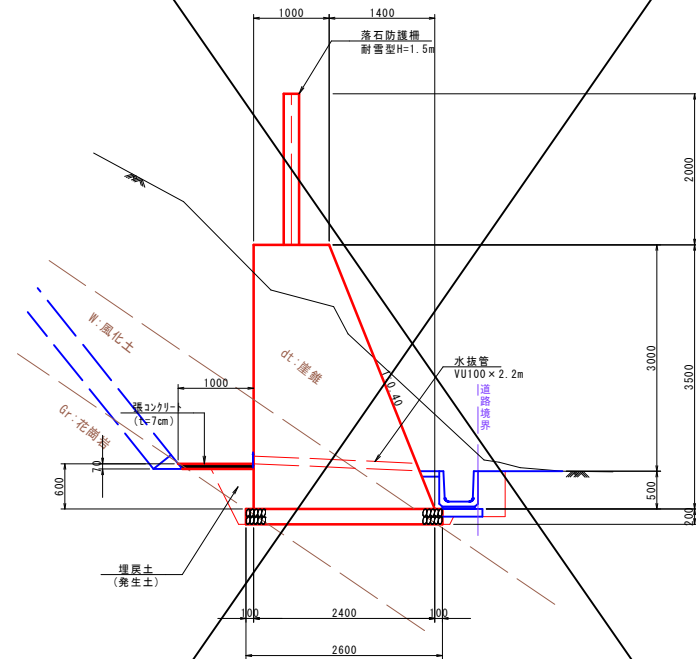


基礎地盤条件
 $\gamma=16\text{kN/m}^3$, $\phi=35^\circ$, $C=4.5\text{kN/m}^2$ (支持力に評価)
極限支持力 (q_u) = 230kN/m² 以上

埋戻土条件
 $\gamma=19\text{kN/m}^3$, $\phi=30^\circ$ 相当

- ※1. 地盤線は推定線であるため、掘削・床掘時に地層を確認してください。
2. 床掘後、基礎地盤支持力 (q_u) を確認してください。
地盤支持力が不足する場合は砕石を用いて置換えてください。

待受け擁壁（8型）



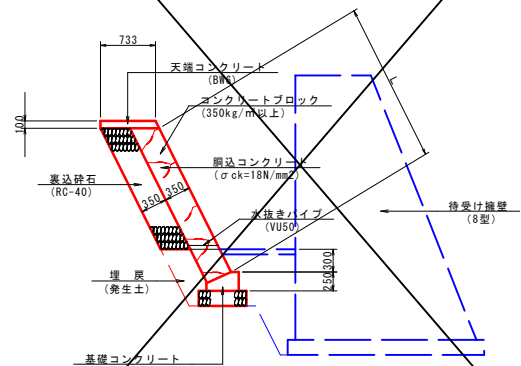
基礎地盤条件
 $\gamma=16\text{kN/m}^3$, $\phi=35^\circ$, $C=4.5\text{kN/m}^2$ (支持力に評価)
極限支持力 (q_u) = 230kN/m² 以上

埋戻土条件
 $\gamma=19\text{kN/m}^3$, $\phi=30^\circ$ 相当

- ※1. 地盤線は推定線であるため、掘削・床掘時に地層を確認してください。
2. 床掘後、基礎地盤支持力 (q_u) を確認してください。
地盤支持力が不足する場合は砕石を用いて置換えてください。

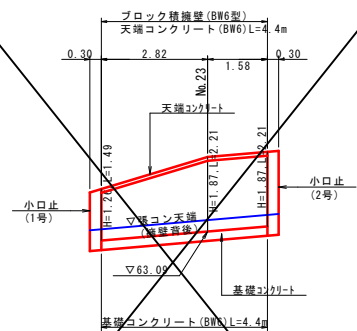
練ブロック積標準図

S=1:50



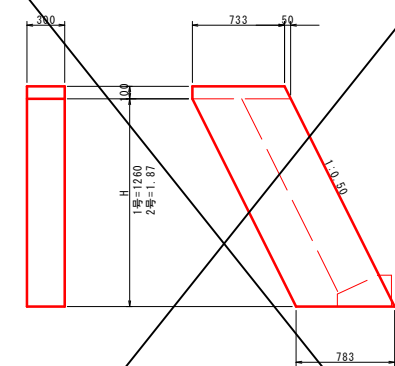
- ※埋戻土は良質土で入念に締め固めてください。
水抜管は前面の張コンより上部で、2~3mに1箇所配置してください。
水抜管の背面側には透水マット (口15cm程度) を設けてください。

ブロック積展開図 S=1:100



小口止コンクリート

S=1:30



数量表

10.0m当り

名 称	規 格	単 位	1号	2号
コンクリート	18N-8-40	m ³	0.32	0.46
型 枠	小型構造	m ²	2.55	3.71

数量表

10.0m当り

名 称	規 格	単 位	天端コンクリート	基礎コンクリート
コンクリート	18N-8-40	m ³	0.76	0.83
型 枠	小型構造	m ²	2.12	3.50
基礎砕石	RC-40, t=20cm	m ²	—	6.30

設計条件

項 目	設計値
土砂移動高さ (hsm)	m 1.0
比重 (σ)	t/m ³ 2.6
容積濃度 (C)	0.5
密度 (σm)	t/m ³ 1.8
流体力抵抗係数 (fd)	0.025
内部摩擦角 (ϕ)	衝撃時 ° 25.0 体積時 ° 30.0
単位重量 (γ)	kN/m ³ 18.0
土質区分	崖推 (砂質土) 風化土 (砂質土)
単位重量 (γ)	kN/m ³ 16.0 19.0
内部摩擦角 (ϕ)	° 35.0 30.0
基礎底面摩擦抵抗 (μ)	0.6 0.6

数量表

10.0m当り

名 称	規 格	単 位	7-1型	7-2型	8 型
コンクリート	18N-8-40	m ³	47.25	52.50	59.50
型 枠	無 筋	m ²	72.70	72.70	72.70
基礎砕石	RC-40, t=20cm	m ²	22.00	24.00	26.00
水抜管	VU100	m	7.50	11.00	11.00
吸出防止材	250 x 250	枚	5.00	5.00	5.00
張コンクリート	18N-8-20, t=7cm	m ³	0.68	0.68	0.68

- ※1. 伸縮目地は延長10mに1箇所を標準とする。
2. 落石防護柵の支柱は擁壁本体コンクリートと同時打設としてください。
3. 水抜管は2m当り1箇所を標準に配置してください。
4. 基礎の埋戻土は良質土（発生土）で入念に充填してください。

(A工区)

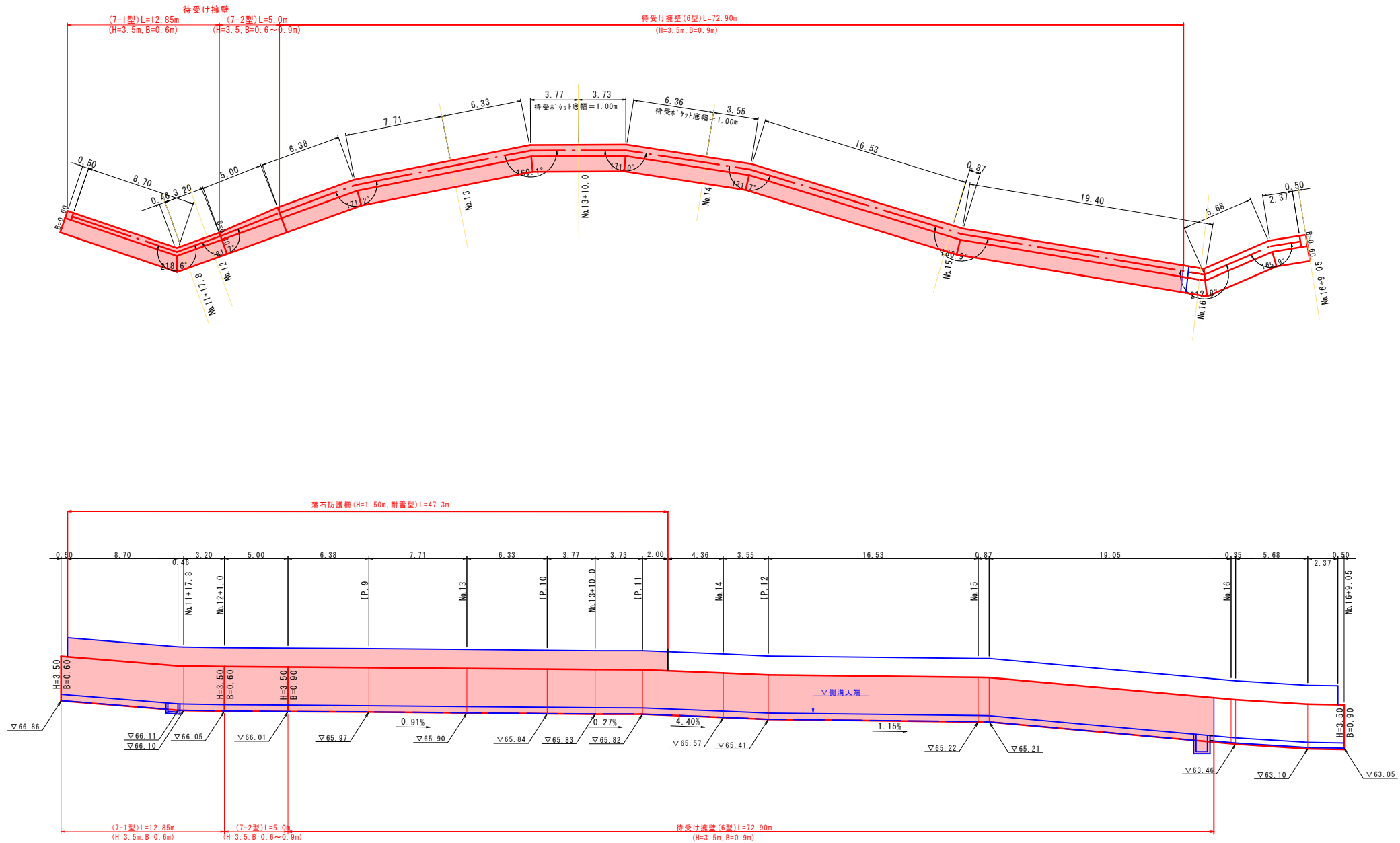
起工

地区名	牧 地 区
牧地区急傾斜地崩壊対策工事 (6工区) (国補正)	
図 名	待受け擁壁工標準図 (3/4)
位 置	東伯郡三朝町大字牧
縮 尺	図示 単 位 M, MM
図 号	全 15 葉中の内 9
令和 7 年度施工 鳥 取 県	
中部総合事務所県土整備局	

待受け擁壁工 配置・展開図 (3/5)

S=1:200

待受け擁壁 (6、7-1・7-2型)

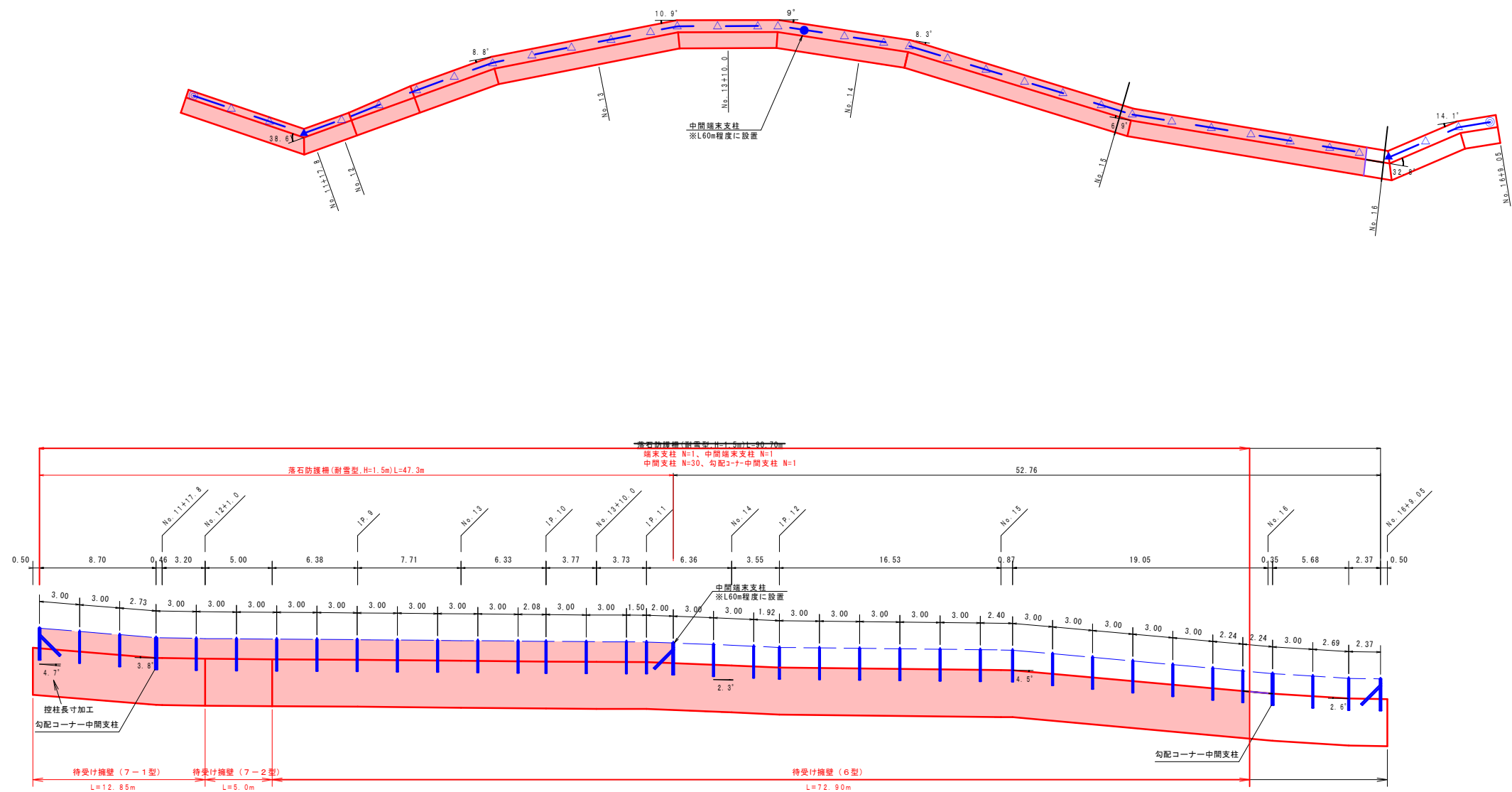


(A工区)		起工	
地区名	牧地区		
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)			
図名	待受擁壁工配置・展開図(3/5)		
位置	東伯郡三朝町大字牧		
縮尺	図示	単位	M,MM
図号	全 15 葉中の内 10		
令和 7 年度施工		鳥取県	
中部総合事務所県土整備局			

落石防護柵工割付（参考）図（3/5）

落石防護柵（耐雪型, H=1.50m） S=1:200

待受け擁壁（6、7-1・7-2型）



—数量表—

記号	支柱名称	規格	数量
◎	端末支柱	H-150×150×7×10	1本
●	中間端末支柱	H-150×150×7×10	1本
△	中間支柱	H-200×100×5.5×8	30本
▲	勾配コーナー中間支柱	H-175×175×7.5×11	1本

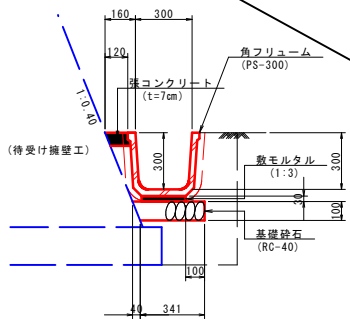
※目地は、支柱から50cm以上離すこと。
※支柱割付けは参考である。

(A工区)		起工	
地区名	牧地区		
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)			
図名	落石防護柵割付図(3/5)		
位置	東伯郡三朝町大字牧		
縮尺	S=1:200	単位	M,MM
図号	全 15 葉中の内 11		
令和 7 年度施工		鳥取県	
中部総合事務所県土整備局			

排水施設工構造図

1号排水工

(PS-300) S=1:20



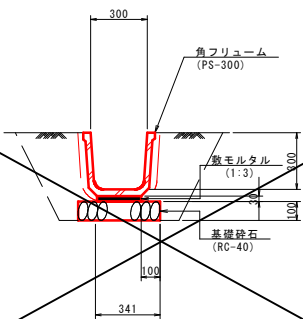
数量表

10.0m当り

名 称	規 格	単 位	数 量
角フリューム	300型、2m/個	個	5.00
敷モルタル	1:3、t=3cm	m3	0.07
基礎砕石	RC-40、t=10cm	m2	3.61
張コンクリート	18N-8-40、t=7cm	m3	0.08

2号排水工

(PS-300) S=1:20



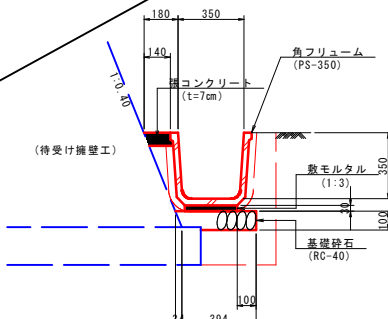
数量表

10.0m当り

名 称	規 格	単 位	数 量
角フリューム	300型、2m/個	個	5.00
敷モルタル	1:3、t=3cm	m3	0.07
基礎砕石	RC-40、t=10cm	m2	4.34
張コンクリート	18N-8-40、t=7cm	m3	0.09

3号排水工

(PS-350) S=1:20



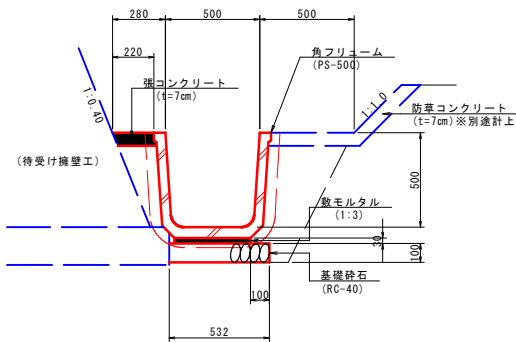
数量表

10.0m当り

名 称	規 格	単 位	数 量
角フリューム	350型、2m/個	個	5.00
敷モルタル	1:3、t=3cm	m3	0.08
基礎砕石	RC-40、t=10cm	m2	3.61
張コンクリート	18N-8-40、t=7cm	m3	0.09

4号排水工

(PS-500) S=1:20



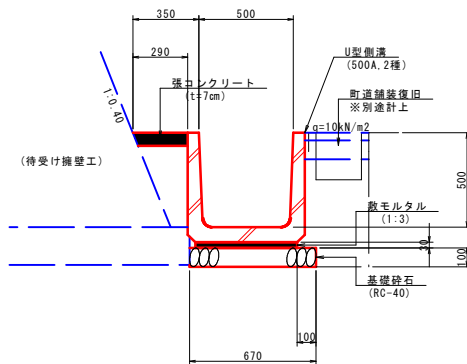
数量表

10.0m当り

名 称	規 格	単 位	数 量
角フリューム	500型、2m/個	個	5.00
敷モルタル	1:3、t=3cm	m3	0.12
基礎砕石	RC-40、t=10cm	m2	5.32
張コンクリート	18N-8-20、t=7cm	m3	0.15

5号排水工

(U-500A) S=1:20



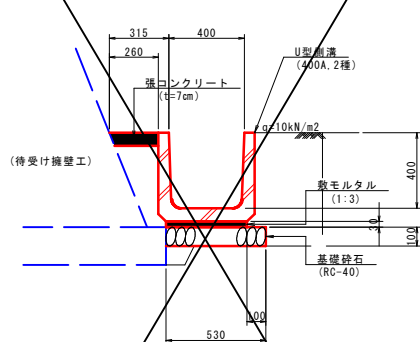
数量表

10.0m当り

名 称	規 格	単 位	数 量
U型側溝	500A、2種、2m/個	個	5.00
敷モルタル	1:3、t=3cm	m3	0.16
基礎砕石	RC-40、t=10cm	m2	6.70
張コンクリート	18N-8-20、t=7cm	m3	0.19

6号排水工

(U-400A) S=1:20



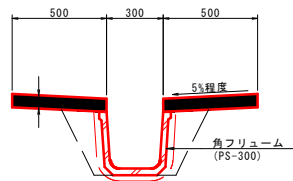
数量表

10.0m当り

名 称	規 格	単 位	数 量
U型側溝	400A、2種、2m/個	個	5.00
敷モルタル	1:3、t=3cm	m3	0.13
基礎砕石	RC-40、t=10cm	m2	5.30
張コンクリート	18N-8-40、t=7cm	m3	0.17

縦排水工

(VDR-1) S=1:20



数量表

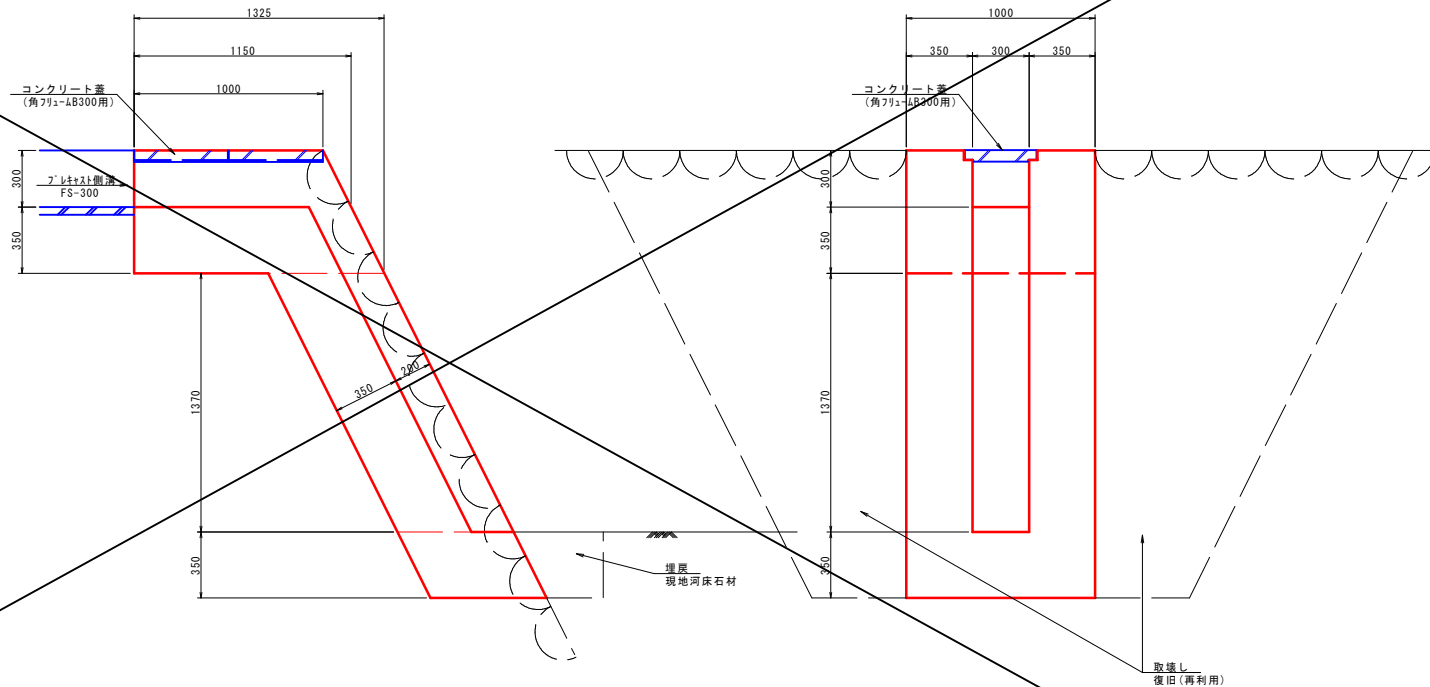
10.0m当り

名 称	規 格	単 位	数 量
角フリューム	300型、2m/個	m3	5.00
型 枠	小型構造	m2	2.80
張コンクリート	18N-8-40、t=7cm	m3	0.70

縦水路工

(VD2-B300-h300) S=1:20

※No.28+6.5付近



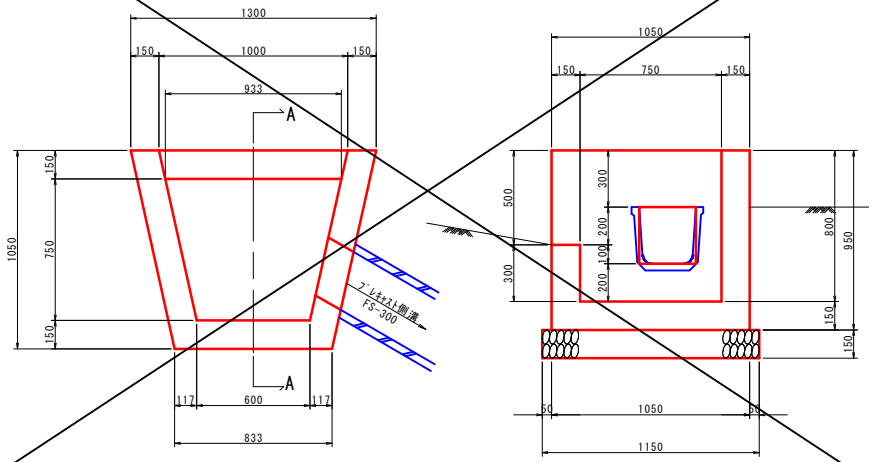
数量表

1.0箇所当り

名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N-8-40	m3	1.55
型 枠	小型構造	m2	9.93
コンクリート蓋	角フリューム用 B300、L0.5m/枚	枚	2.0

呑口工

※No.5付近 S=1:20



数量表

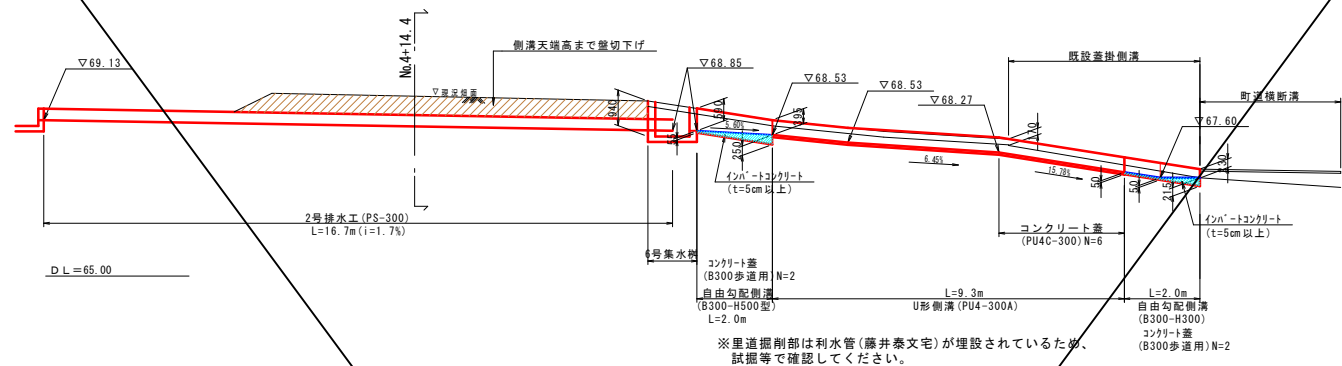
1.0箇所当り

名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N-8-40	m3	0.51
型 枠	小型構造	m2	5.14
基礎砕石	RC-40、t=15cm	m2	1.34

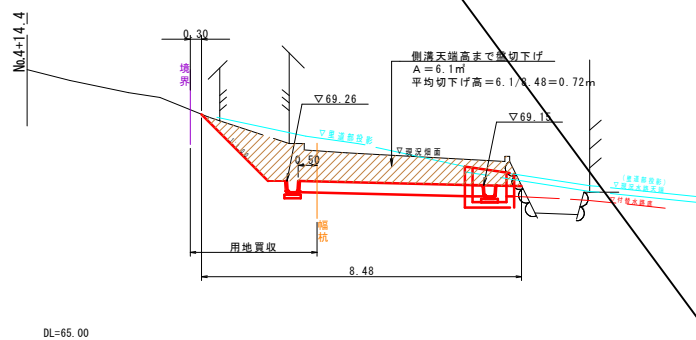
起工

地区名	牧 地 区
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)	
図 名	排水工構造図 (1/5)
位 置	東伯郡三朝町大字牧
縮 尺	図 示 単 位 MM
図 号	全 15 葉中の内 12
令和 7年度施工	鳥 取 県
中部総合事務所県土整備局	

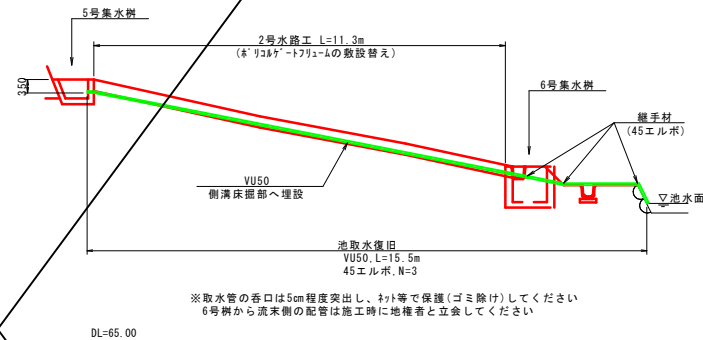
No. 4 付近 流末排水工側面図
S=1:100



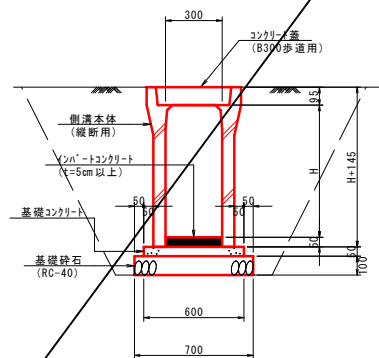
No. 4 + 14.4 断面図 (実測)



池(山本宅)取水復旧参考図
S=1:100



自由勾配側溝
(B300型) S=1:20

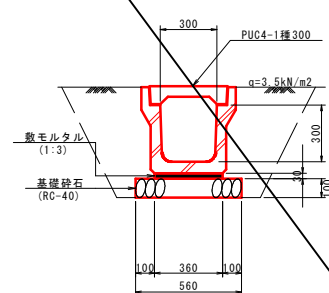


※適用H=500, 300型
側溝蓋配置は側溝敷設図を参照
里道掘削部は利水管(藤井泰文宅)が埋設されているため、
試掘等で確認してください。

規 格	単位	数 量
H 300	m3	0.27
H 500	m3	0.48

数 量 表			10.0m当り
名 称	規 格	単位	数 量
自由勾配側溝	縦断用,B300型	本	5.00
インパ-トンクリート	18N-8-40	m3	別 途
基礎コンクリート	18N-8-40,t=5cm	m3	0.30
同上型枠	均し基礎用	m2	1.00
基礎砕石	RC-40,t=10cm	m2	7.00
側溝蓋	B300用1500	枚	10.00

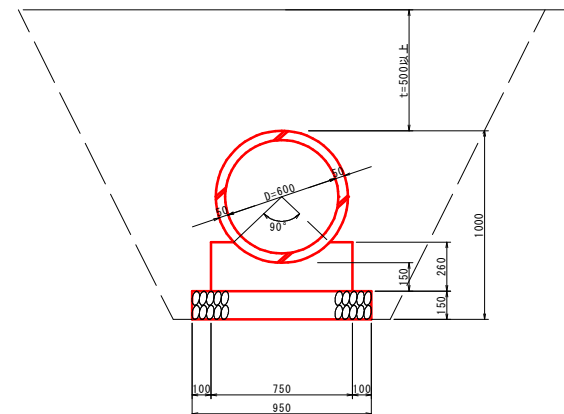
フ レキャストU型側溝
(PU4-1種300A) S=1:20



※側溝蓋の配置は側溝敷設図を参照

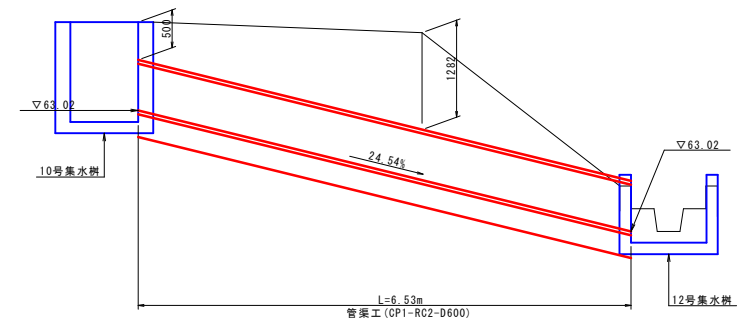
名 称	規 格	単位	数 量
U型側溝	PUC4-1種300A	個	5.00
敷モルタル	1:3,t=3cm	m ³	0.11
基礎碎石	RC-40,t=10cm	m ²	5.60
側溝蓋	PUC4-1種300	枚	20.00

管 渠 工
(CP1-RC2-D600) S=1:20

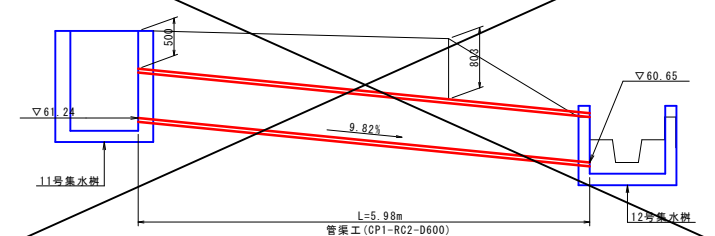


町道横断管渠側面図

(No.15+17.5付近)



(No.20+15 付近)



E I

地区名	牧地区		
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)			
図名	排水工構造図(2/5)		
位置	東伯郡三朝町大字牧		
縮尺	図示	単位	M.MM
図号	全 15 葉中の内 13		
令和	7年度施工		鳥取県
中部総合事務所県土整備局			

6号集水桝

S=1:20

7号集水桝

S=1:20

8号集水桝

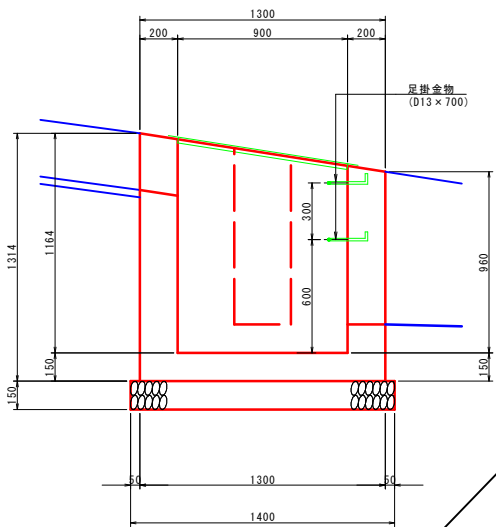
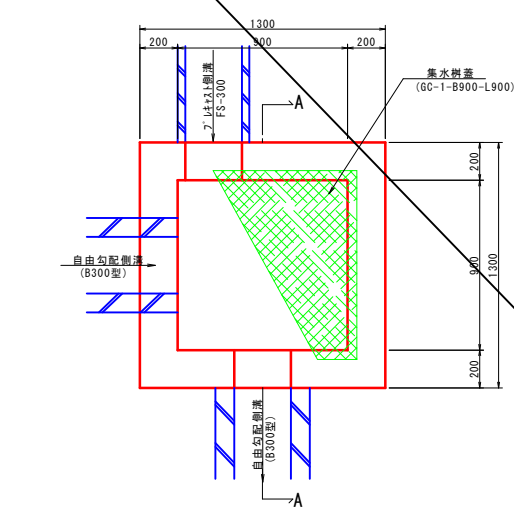
S=1:20

9号集水桝

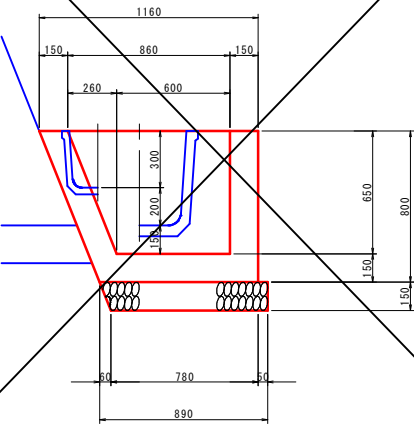
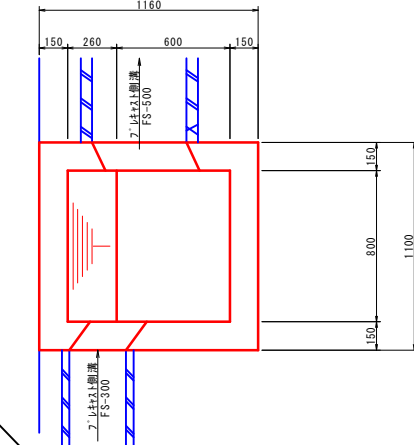
S=1:20

10号集水桝

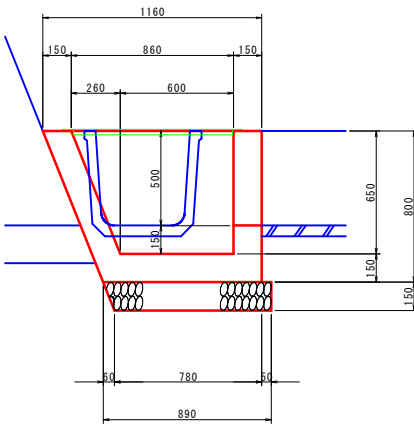
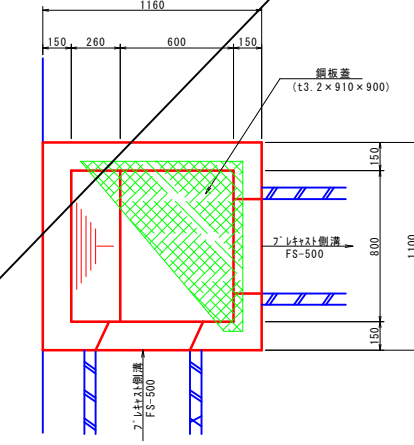
S=1:20



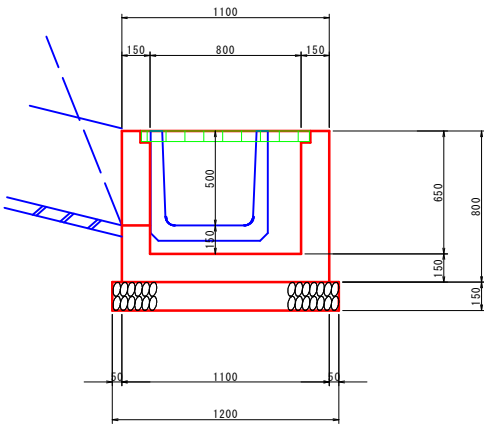
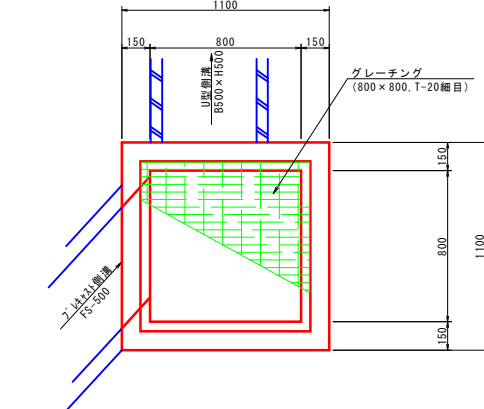
数量表			
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N-8-40	m3	1.07
型 枠	小型構造	m2	10.67
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m2	1.96
足掛金物	錆び止め塗布 D13×700	kg	1.39
集水桝蓋	GC-1-B900-L900	枚	1.00



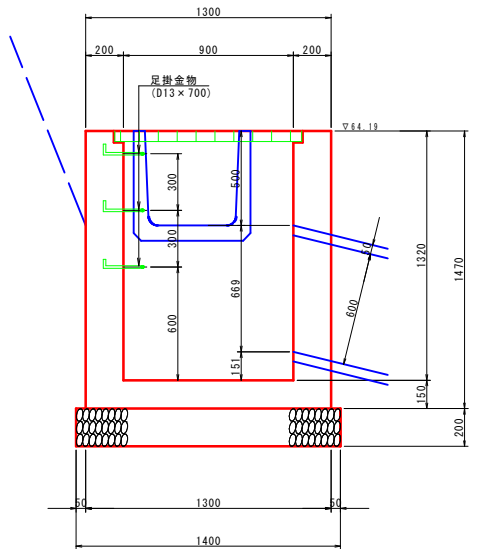
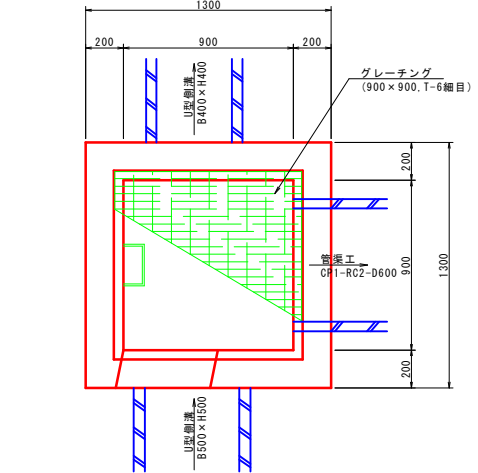
数量表			
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N-8-40	m3	0.50
型 枠	小型構造	m2	4.93
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m2	1.03



数量表			
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N-8-40	m3	0.43
型 枠	小型構造	m2	4.93
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m2	1.03
鋼板蓋	SS400 t3.2×910×900	kg	21.69
等辺山形鋼	SS400 30×30×3	枚	3.30
丸鋼	φ13	枚	0.94



数量表			
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N-8-20	m3	0.48
型 枠	小型構造	m2	6.08
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m2	1.44
グレーチング	800×800 T-20細目	枚	1.00

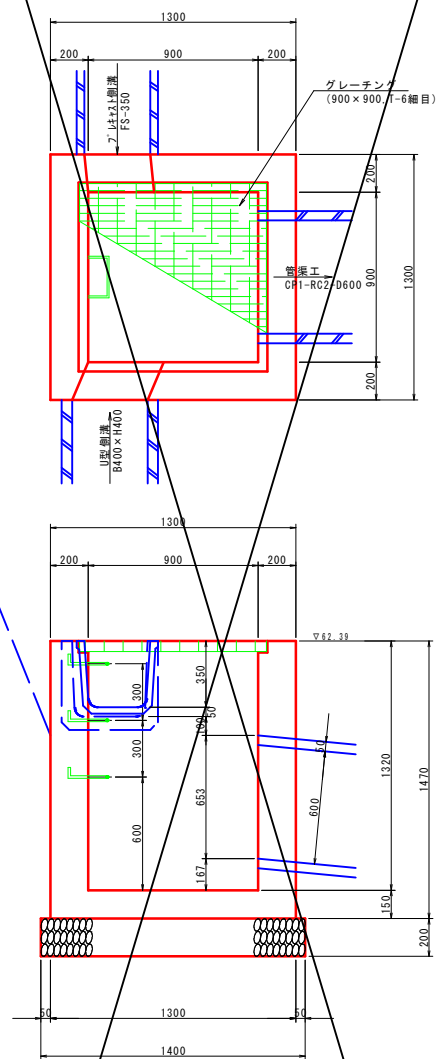


数量表			
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N-8-20	m3	1.29
型 枠	小型構造	m2	12.94
基礎砕石	RC-40, t=20cm	m2	1.96
足掛金物	錆び止め塗布 D13×700	kg	2.09
グレーチング	900×900 T-6細目	枚	1.00

起 工			
地 区 名	牧 地 区		
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)			
図 名	排水工構造図 (4/5)		
位 置	東伯郡三朝町大字牧		
縮 尺	図 示	単 位	MM
図 号	全 15 葉中の内 14		
令 和	7年度施工		鳥 取 県
中部総合事務所県土整備局			

11号集水桝

S=1:20



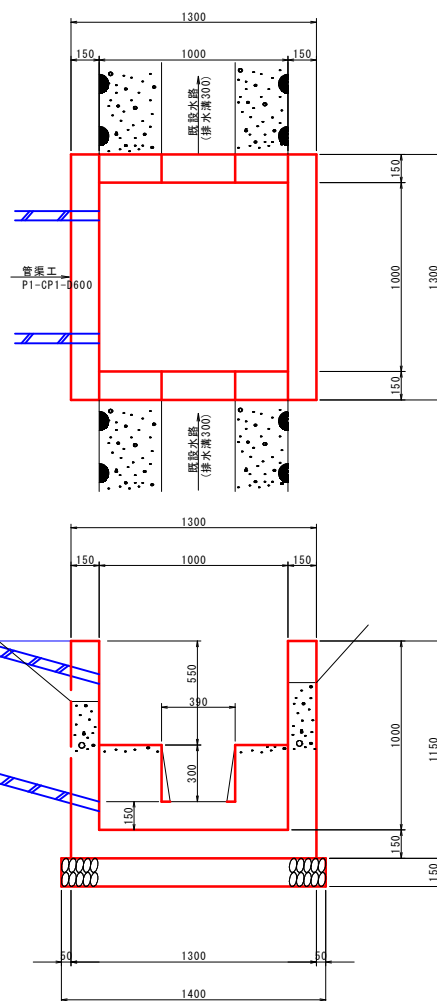
数量表

1.0箇所当り

名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N-8-40	m3	1.28
型 枠	小型構造	m2	12.94
基礎砕石	RC-40, t=20cm	m2	1.96
足掛金物	錆び止め塗布 D13×700	kg	2.09
グレーチング	800×800 T-20細目	枚	1.00

12号集水桝

S=1:20



数量表

1.0箇所当り

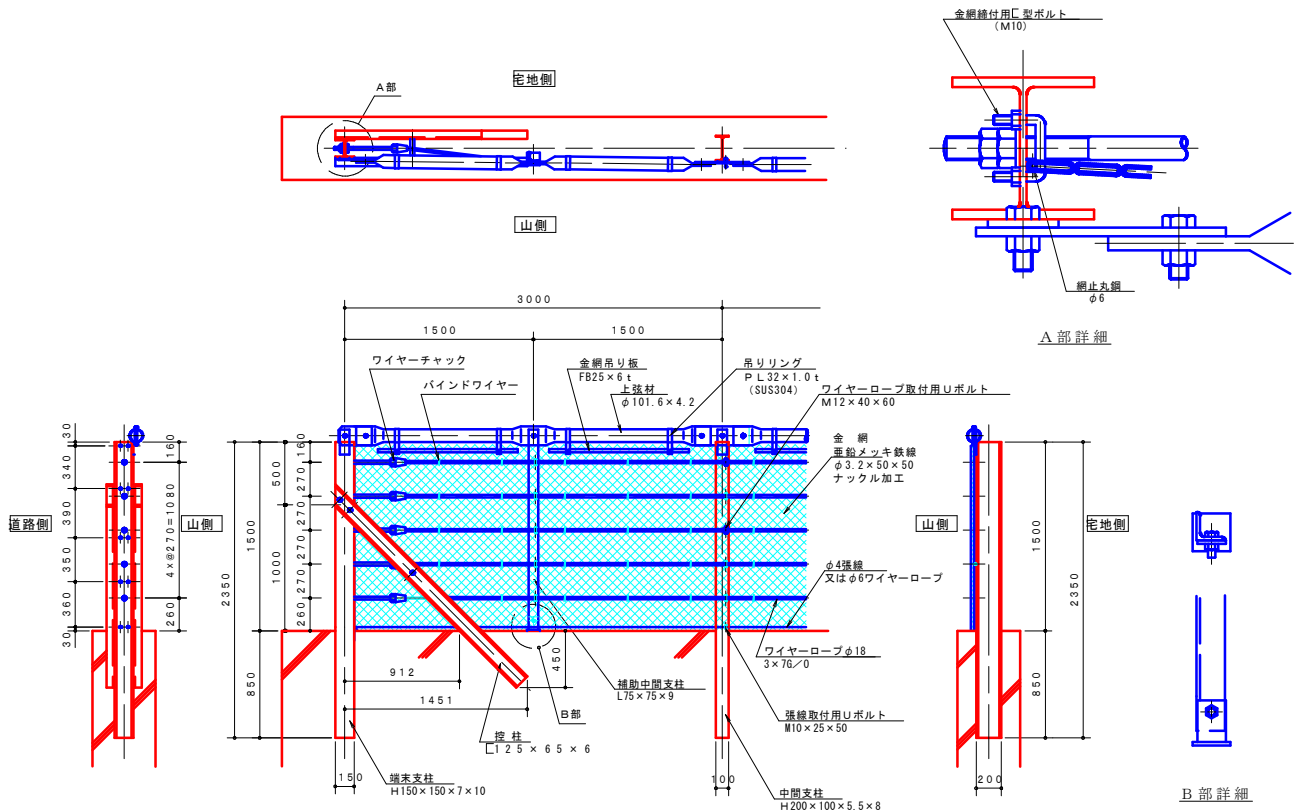
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N-8-20	m3	0.69
型 枠	小型構造	m2	8.38
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m2	1.96

起工

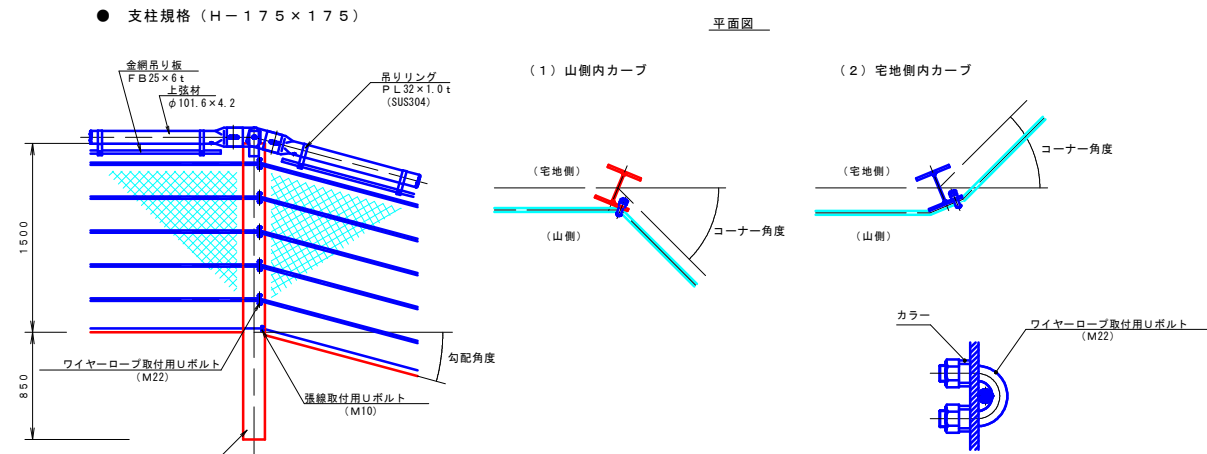
地区名	牧地区		
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)			
図名	排水工構造図(5/5)		
位置	東伯郡三朝町大字牧		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 15 葉中の内 15		
令和	7年度施工		鳥取県
中部総合事務所県土整備局			

落石防護柵（耐雪型）（1/2）

標準図（H=1.50m） S=1:30



勾配コーナー部補強
（中間支柱）



部材仕様

部 材	種 類	規 格	備 考
支 柱	H形鋼	JIS G 3101 (SS400)	
	角型鋼管	JIS G 3466 (SS400)	
サポ ー ト	溝形鋼	JIS G 3101 (SS400)	
	軽量形鋼	JIS G 3350 (SS400)	
ワイヤロープ	3×7 G/0	JIS G 3525 (準拠)	破断荷重157kN以上 φ18
金 網	亜鉛メッキ	JIS G 3525	破断荷重157kN以上 φ3.2×50×50 φ4.0×75×75
	ビニール被覆	JIS G 3525	φ4.0×50×50
索端金具	棒 鋼	JIS G 3101 (SS400)	破断荷重157kN以上 φ25×500
間隔保持材	鋼 板	JIS G 3101 (SS400)	4.5 t × 65
張 線	亜鉛メッキ	JIS G 3547	φ4.0

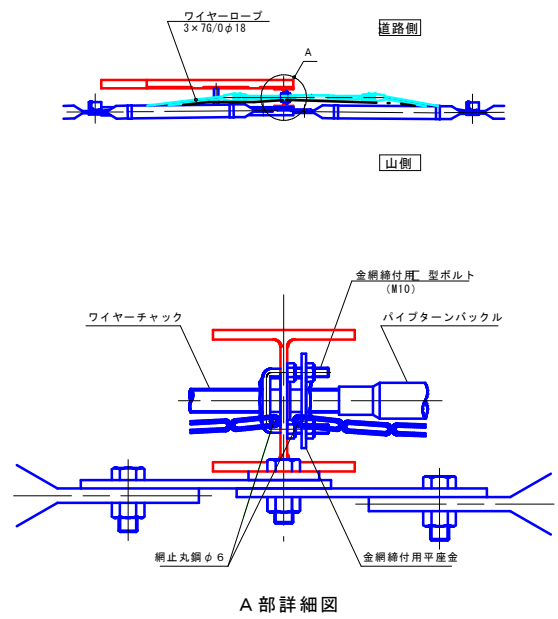
※端支支柱サポート及び上弦材形状は各メーカーの仕様による。

勾配・コーナー変化点角度による支柱規格

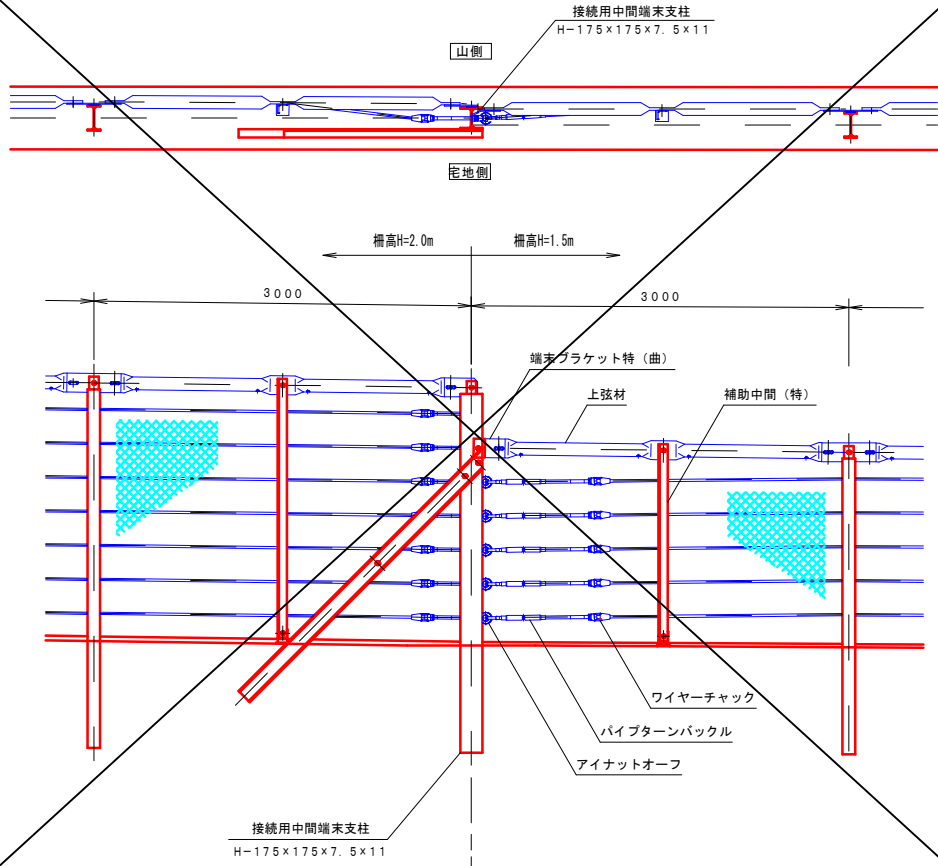
		勾配角度		
		0°～10° まで	10°を超え40° まで	40°を超えとき
コ ー ナ ー 角 度	0°～15° まで	標準中間支柱 H200×100×5.5×8	勾配コーナー中間支柱 H175×175×7.5×11	勾配コーナー中間端支柱 H150×150×7×10
	15°を超え 90° まで	勾配コーナー中間支柱 H175×175×7.5×11	勾配コーナー中間支柱 H175×175×7.5×11	勾配コーナー中間端支柱 H175×175×7.5×11
	90°を 超えるとき	連の分離にて対応		

※上記の補強は参考で、使用を制限するものではない。
これによらない場合は各メーカーの仕様で補強してください。

中間端末支柱取付
（設置間隔＝60m程度以内）



落石防護柵の接続部詳細
（H2.0m/H1.5m）
（接続中間端末の接続参考図）



起工
参考図

地区名	牧 地 区
牧地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)(国補正)	
図 名	落石防護柵工 標準図 (2/2)
位 置	東伯郡三期町大字牧
縮 尺	図示 単 位 M,MM
図 号	全 葉中の内
令和 7年度施工	鳥 取 県
中部総合事務所県土整備局	